

り遠きこと一里餘と。翌二日東^{トシガンマ}瑪雜兒^{ザール}を経て行程十二里玉代^{ノイテ}里克^{リック}に投ず。人家は附近を合せて八十戸、一週に一回市を設くと。路上塵灰甚しく、飲料は溜水に依るが故に頗る不良なり、東干瑪雜兒を西に距る一里餘の地點は巴楚州、伽師縣の境界點とす。

龍口橋

乘馬病む
牌素巴特

三日、雅素^{ヤス}里克^{リック}を経て行程約八里、龍口^{ルンコウ}橋^{チャオ}に着す。此地は喀什噶爾河より瑪喇巴什方向に通ずる大渠の水口なるが故に、龍口の名を得たり。是日經過せし處、雅素里克迄は道路の南側溜水多く爲めに迂回するもの數次、龍口橋までは、灌木帶にして、少許の矮樹相生じ、處々沙丘ありて塵埃甚し。四日乘馬恙ありし爲め滞在し、五日英瓦^{ヤンワ}特^ト（人家^{ヤンワト}附近^ト合^ト）を過ぎて行程十二里餘、牌素^{パイ}巴特^{バト}に到る。同地は人家二百戸、棉花、棉布、毛氈、牛、羊、其の他果物を産し、果物中林檎最も佳なり。光緒二十九年十月此地に伽師^{チャリス}縣^{セン}を置く。予は知縣の準備せる當地纏頭鄉約の別莊に宿し、翌六日滞在したり。

七日、南行沙布^サ特爾^{トル}（人家^{サトル}附近^{トル}總^{トル}）を経てカザン^{カザン}クル^{クル}に到る。人家其附近を合せて四百四十戸あり、此地は南方五里餘を距て、人家約三萬戸を有する一大村落コズ